

ご挨拶

PTA会長

昨年度に引き続き今年度もPTA会長を務めます相田です。宜しくお願ひいたします。

日頃より保護者の皆様には、

PTA活動に対し、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

ここ二年あまりは、新型コロナウイルス感染症に翻弄され、生徒にとっても保護者にとっても、十分な活動ができず、もどかしい思いが続いていることだと思います。

そのような中、校長先生はじめ教職員の皆さんには、困難をいとわず、創意工夫しながら学校行事や部活動を行い、生徒を目標にむかって導いていただきしておりますこと、深く感謝申し上げます。

さて、六月に開催された第七十三回県高校総合体育大会では、競技によつて対応は分かれたものの、子どもの活躍の場を久しうりに見ることができ、感慨深いものがありました。

特に、ホッケー部は、東北大会で十年ぶりに優勝し、徳島県で開催されたインターハイでは、二十年ぶりに準決勝へ進出、優勝経験のある強豪校とサドンデスによるS.O戦(シユートアウェイ)までもつれ込み、惜しくも敗れはしたものの、全国第三位というすばらしい成績を収めら

れました。



チーム米商 頭晴ろう

校長 伊藤 広幸

本校PTA会員の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

令和四年度は生徒の活躍が目立つ年となっています。まずはホッケー部が四国インター

ハイにおいて約二十年ぶりの準決勝進出で第三位とい

う輝かしい記録を残しました。部長

の齋藤はなみさん(三年)は全日本アンダーアジア選手権にも選出されました。高校生は全国で三人だけの選出で本校では初の快挙であります。他には小倉百人一

かるた部の松崎光優さん、泉妻帆さん(三年)が全国高総文祭出場、全商英語スピーチコンテストで齋藤花南さん(二年)が優勝、商業研究部の八年ぶり生徒商業研究発表東北大会出場と開発商品のコンビニ発売予定があ

ります。これらの活動は、多く取り上げられています。これら



夏の甲子園優勝で仙台育英高校

の監督が「青春とは密なものが、現在の高校生は我慢を重ねてきました」と全国の高校生に向けてのメッセージを発していました。特

に三年生はコロナ禍の年に入学。高校の入学式も遅れましたが、中学の卒業式も満足に行えなかつた人もいたはずです。あの時にまさか高校生活の殆どの時間をコロナにより制限されるとは思つてもみなかつたことでしょう。しかし、制限の中で可能な限りのできる事を米商生も行つてくれました。その結果の一端が先に述べた米商生の活躍であると思います。この制限は生徒だけのものではなく保護者の方々にも様々なご不便をお掛けしました。今年度は3年ぶりに対面式のPTA総会を実施しましたが、部活動の大会での応援禁止や鶴城祭における入場制限などがあり、お子様の活躍する姿を間近に見ることができなかつたことも多數あつたと思います。

止まない雨はありません。コロナ禍の辛い時期に高校生活を送つた経験は必ず人生のどこかでプラスになる時がくるはずです。一人で乗り越えられない事でも皆でなら乗り越えられる。「チーム米商(頭晴ろう)」を合言葉に生徒・保護者・教員で一つのチームになります。これらの活躍はマスク共になつてコロナ禍でも充実した生活を送つていきましょう。



会計情報実習室が完成しました！



「スマート専門高校の実現」事業により、デジタル化に向けた産業教育装置の整備が進められ、本校にも「会計情報実習室」が設置されました。ノート型パソコン41台がネットワーク化され、会計ソフト(弥生会計)や動画編集ソフト(VideoStudio)、ワープロソフト(WORD)、表計算ソフト(EXCEL)、ビデオ会議ソフト(zoom、meet)等が導入されました。さらに学習環境が整いましたので、効果的に活用し情報教育の充実を図つて参りたいと思います。